１５．佐渡路(さどじ)―会津街道(あいづかいどう)・鳥井峠(とりいとうげ)・車峠(くるまとうげ)・束松峠(たばねまつとうげ)・滝沢峠越(たきざわとうげごえ)

選定箇所：鳥井峠～車峠（福島県西会津町）～束松峠（西会津町・会津坂下町）、
滝沢峠（会津若松市）

概要：日本海側と内陸側との往来に欠かせない街道である。そのうち滝沢峠越は若松城下はずれの滝沢本陣から滝沢峠を越し穴切一里塚までの間である。滝沢本陣は、若松城から３．５㎞ にあたり参勤上府の際はここで旅支度に変え、最初の峠である滝沢峠を越した。束松峠は、会津坂下町と西会津町にまたがる峠道である。明治１５年（１８８２年）以降に会津街道が藤峠経由になるまでの間、越後と会津を結ぶ本街道として賑わいを見せていた。

束松峠